

声

業界の



● 一般社団法人 山梨県木造住宅協会

代表理事 中村伊伯氏

設立の経緯について

現在、地域にある中小の工務店は大変疲弊しています。その要因は、県外資本の大手ハウスメーカーが大きな市場シェアを獲得しているためです。しかし、その地域に合った住宅を建築することは、その地域をよく知る工務店だからこそできることだと思います。その想いを実現させるため、また地域の工務店がこれからも生き残っていくために、昨年5月に本会を設立しました。

協会の事業について

本会の主な事業としては、情報収集力に乏しい工務店を支援していくため、国等の各種情報の提供、補助事業の申請支援等を行っています。また、設計事務所や森林組合等も会員とし、本県において、設計から資材の調達、建築まで一括して行える体制を整えています。

今後の展開について

本県は周囲を山に囲まれており、木材が豊富にあります。この利点を活かし、本県の住宅は「本県の木材を使い、本県の設計業者が設計し、本県の工務店で施工する」、言わば住宅の「地産地消」を目的に活動していきたいと考えています。

木材にはクセがあり、設計、建築には高い技術が必要になります。しかし、木材には木材だからこそ感じる「木の暖かみ」があります。これは、鉄筋、鉄骨には出せないものです。この良さを多くのの方々に知って頂くためにも、研修会等を通じて会員企業の技術の向上を図っていきたくと考えています。

今後も集う人々が笑顔になれるような建築物を作り出していきたくです。



木の良さを知ってもらうため、定期的にイベントを開催している